

| 平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス   |  |  |                      |      |
|---|--|--|----------------------|------|
| 教科目名  | リノベーションデザイン  | 担当教員   | 今田太郎・柴田良一・中谷岳史       |      |
| 学年学科  | 2 年次 建設工学専攻  | 前期   | 選択                   | 2 単位 |
| 学習・教育目標   | (D-3 環境系) 100%   |  | JABEE 基準 1 (1) : (d) |      |
| <b>授業の目標と期待される効果：</b><br>我が国の建設市場は、スクラップアンドビルド型からサステイナブル型に変化しつつあり、建築物の再生（リノベーション）が求められている。<br>本授業では、計画、環境、構造といった様々な視点からリノベーションのデザイン手法や考え方について学ぶ。そのことによって、建設技術者が持続可能な社会における役割を理解し、建設技術者として必要な社会的視野を身につける。具体的には以下の項目を目標とする。<br>①リノベーションに関わる諸問題を把握できる。<br>②リノベーションを実践するための考え方を理解する。<br>③リノベーションデザインを学生の視点から実際に提案する |  | <b>成績評価の方法：</b><br>各課題 100 点とし、総得点に占める得点率で評価を行う。<br><br><b>達成度評価の基準：</b><br>下記の 3 つとする<br>①リノベーションに関わる基本的諸問題を把握できた。<br>②リノベーションを実践するための基本的な考え方を修得できた。<br>③リノベーションデザインについて現実に即した提案ができた。 |                      |      |
| 授業の進め方とアドバイス：現場調査など学外学習が中心となるため、夏休み等を利用した集中講義の形態を取る事がある。授業形態は、主担当教員が構成する授業に、適宜、他郷員が参加するスポットライト方式とし、今田が 10 回担当し、柴田、中谷が各 2. 25 回担当する。柴田、中谷は演習の適切な段階において、授業に参加し、アドバイスをを行う。   |  |  |                      |      |
| <b>教科書および参考書：</b> なし  |  |  |                      |      |
| 授業の概要と予定：前期   | 教室外学修  | AL のレベル  |                      |      |
| 第 1 回：授業の概要説明、課題提示、敷地、図面情報共有、調査計画について   | 以下、作業日誌をつけること。   |  |                      |      |
| 第 2 回：現地調査（変更の可能性あり）  | リノベーションの対象に関する基本事項（建物の履歴、平立断面、構造形態、設備など）および、敷地周辺状況、立地地域の文脈、仮想ユーザー・クライアントについて把握した情報を整理する。 | A  |                      |      |
| 第 3 回：分析手法・ワークショップ手法の解説   | ワークショップの技法（ブレインストーミング、KJ 法）について理解を深める。   | A  |                      |      |
| 第 4 回：現地調査結果の分析ワークショップ：可能性、課題抽出。作成資料の検討   | 調査分析資料の作成（マッピング、グラフ、ダイアグラム）  | A  |                      |      |
| 第 5 回：調査分析資料に基づいた、調査分析に関するプレゼンテーションの構成検討  | 調査分析資料に基づいた、調査分析に関するプレゼンテーションの作成   | A  |                      |      |
| 第 6 回：専門教員によるアドバイス・意見交換 1   | 授業で得られた意見の整理。対象建築の現状模型作成   | A  |                      |      |
| 第 7 回：ワークショップ形式（ランダムインプット・KJ 法）による計画案の検討  | 複数の計画案のスタディ模型の作成   | A  |                      |      |
| 第 8 回：スタディ案検討ワークショップ。案の修正、絞り込み（At サテライトスタジオ）  | 複数の修正スタディ模型の作成   | A  |                      |      |
| 第 9 回：専門教員によるアドバイス・意見交換 2（At サテライトスタジオ）   | 更に絞り込んだ企画案を作成する。   | A  |                      |      |
| 第 10 回：現地ワークショップ（仮想ユーザー・クライアント・地域住民）（At サテライトスタジオ）  | 現地ワークショップの結果を反映した案の作成  | A  |                      |      |
| 第 11 回：企画プレゼンテーションについての検討（At サテライトスタジオ）   | 企画プレゼンテーションの準備。  | A  |                      |      |
| 第 12 回：専門教員によるアドバイス・意見交換 3（At サテライトスタジオ）  | 企画プレゼンテーションの準備。  | A  |                      |      |
| 第 13 回：リノベーション案作成ワークショップ（At サテライトスタジオ）  | 企画プレゼンテーションの準備。  | A  |                      |      |
| 第 14 回：リノベーション案作成ワークショップ（At サテライトスタジオ）  | 企画プレゼンテーションの準備。  | A  |                      |      |
| 第 15 回：講評会（現地で実施。仮想ユーザー・地域住民）   |  | A  |                      |      |
| 第 16 回：フォローアップ（課題解説）  |  |  |                      |      |

評価（ルーブリック）

| 達成度<br>評価項目 | 理想的な到達<br>レベルの目安<br>(優)                   | 標準的な到達<br>レベルの目安<br>(良)                     | 未到達<br>レベルの目安<br>(不可)                |
|-------------|---|---|--------------------------------------|
| ①           | リノベーションに関わる基本的諸問題を把握を（8割以上）計画に反映できる       | リノベーションに関わる基本的諸問題を把握をほぼ的確（6割以上）に計画に反映できる    | リノベーションを実践するための基本的な考え方の理解を計画に反映できない。 |
| ②           | リノベーションを実践するための基本的な考え方の理解を（8割以上）計画に反映できる。 | リノベーションを実践するための基本的な考え方をほぼ的確（6割以上）に計画に反映できる。 | リノベーションを実践するための基本的な考え方の理解を計画に反映できない。 |
| ③           | リノベーションデザインについて現実に即した提案が（8割以上）できる。        | リノベーションデザインについて現実に即したほぼ的確な提案（6割以上）ができる。     | リノベーションデザインについて現実に即した提案ができない。        |